

PERU

2020.12



保健医療

現地ニーズレポート

経済産業省

令和2年度技術協力活用型・

新興国市場開拓事業補助金

(社会課題解決型国際共同開発事業

(製品・サービス開発等支援事業))

アイ・シー・ネット株式会社

03	概況・特徴
19	ニーズが見込まれる製品・サービス
21	業界構造
22	市場規模
24	日本企業の進出可能性
26	パートナーとすべき現地企業の特徴
27	現地パートナー候補リスト
29	参入事例
31	業界構造
32	市場規模
34	日本企業の進出可能性
36	パートナーとすべき現地企業の特徴
37	現地パートナー候補リスト
39	参入事例
41	業界構造
42	市場規模
44	日本企業の進出可能性
46	パートナーとすべき現地企業の特徴
47	現地パートナー候補リスト
49	参入事例

健康管理機器

個人向け健康管理アプリ

遠隔診療システム



CONTENTS



健康水準及び医療水準

指標	男性	女性
平均寿命 (2016 年)	73.42 歳	78.34 歳
健康寿命 (2016 年)	65.8 歳	69.2 歳
1000 人あたり 5 歳以下の乳幼児死亡率 (2018 年)	14.3 人	
10 万人あたり 妊産婦死亡率 (2017 年)	88 人	
18 歳以上の人口に占める 高血圧患者の割合 (2015 年)	16.1 %	11.2 %
18 歳以上の人口に占める 肥満の人の割合 (2016 年)	15.2 %	24.2 %
15 歳以上人口に占める 喫煙者の割合 (2015 年)	N/A	5.9 %

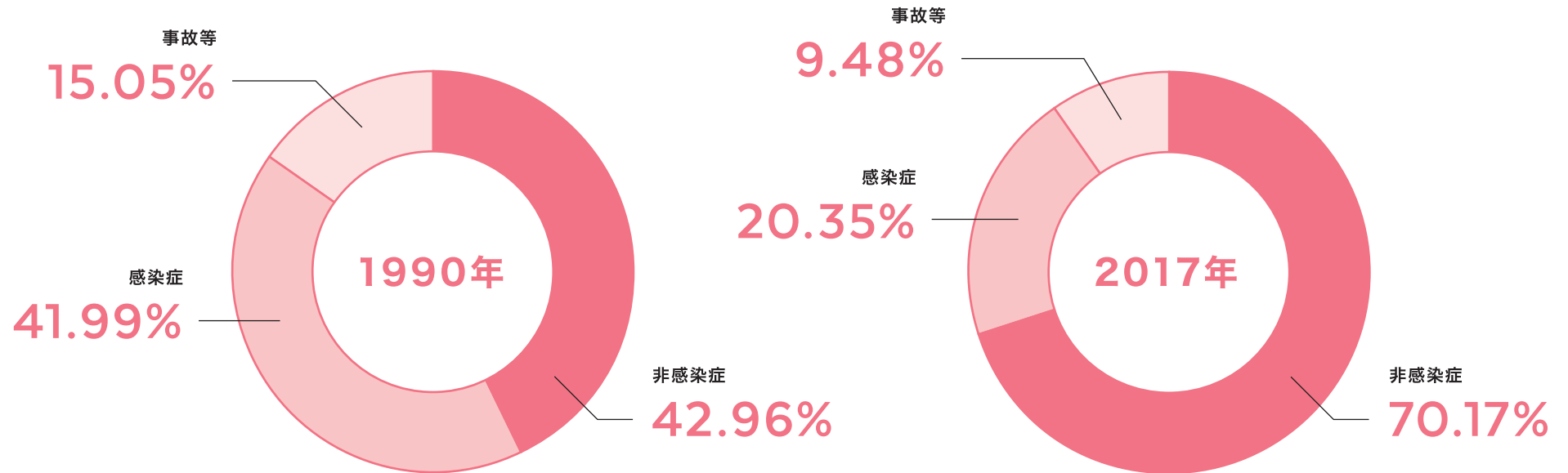
(出所)世界保健機関(WHO)「Global Health Observatory (GHO) Data」(2020年8月時点での情報)



疾病構造、死亡要因

- この約30年間で非感染症疾患による死亡が大きく増加している。

ペルーの疾病構造の変化(1990年-2017年)



(出所) Institute of Health Metrics and Evaluation「Global Burden of Disease Study」



医療システム

- 保健省等が運営する公共医療機関と民間医療機関が存在する。民間医療機関が多くを占めている。

ペルーの保健医療施設の分類・施設数

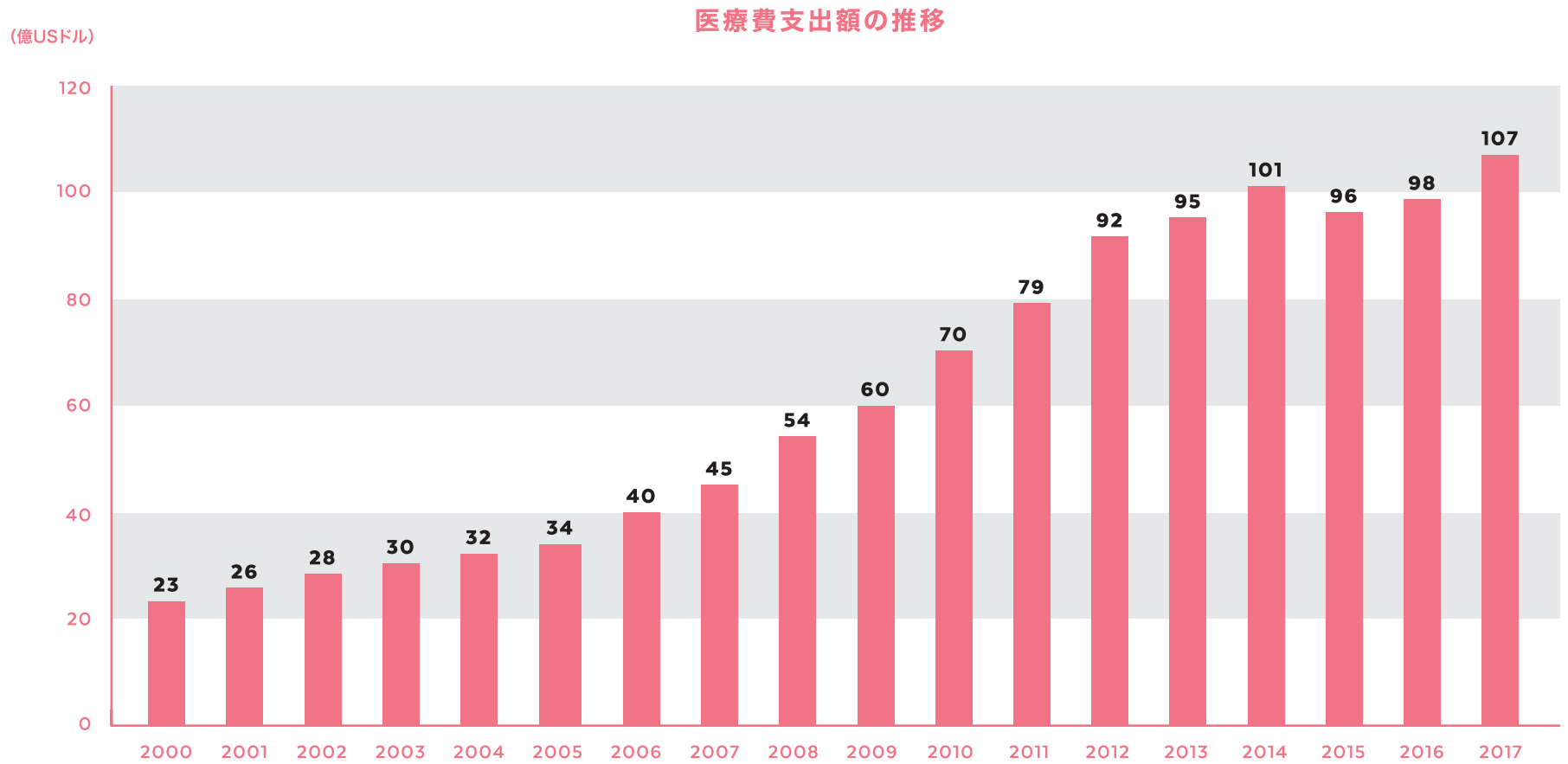
運営主体		病院	診療所	保健所	合計
公共 医療機関	保健省	171	1,498	6,193	7,862
	社会保険庁	12	75	303	390
	国軍	16	44	0	60
	国家警察	5	77	175	257
民間医療機関		372	6,208	0	6,580
合計		576	7,902	6,671	15,149

(出所)JETRO「BOP/ボリュームゾーンビジネス実態調査レポート」(2016)



医療費支出額

- 医療費支出額は年々増加しており、2017年には100億USドルを超えている。



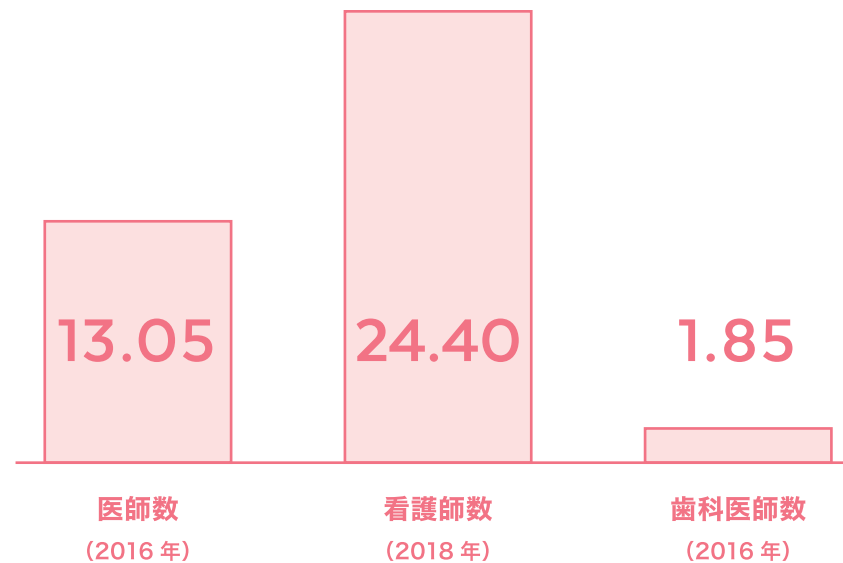
(出所)WHO「Global Health Expenditure Database」(2020年8月時点での情報)



医療従事者数

- 人口1万人あたりの医師数は13.05人で世界194カ国中104位、看護師数は24.4人で110位、歯科医師数は1.85人で102位となっている。

人口1万人あたりの医療従事者数



(出所)WHO「Global Health Observatory (GHO) Data」(2020年8月時点での情報)



医療保険制度

公的保険には保健省が管轄する「統合健康保険」と社会保険庁が管轄する「社会保険」がある。

公的保険

- 保健省が管轄する「統合健康保険」は所得の低い貧困者を対象としており、保健省管轄の施設・対象となる疾患・治療であれば、原則無償でサービスを提供している。
- 社会保険庁が管轄する「社会保険」は正規雇用者を対象としており、雇用者の保険料を雇用主が支払い、保険料の一部を労働雇用促進省がカバーするという官民双方で運営しているものであり、被保険者は居住地を管轄する社会保険病院を受診し、医療サービスを受ける。

民間保険

- 民間保険には民間保険会社が運営するもの、民間と政府双方が協力して運営しているものに二分される。



公的医療保険制度

- 「統合健康保険」の加入者が最も多く、55.2%を占めている。次いで「社会保険」が29.2%となっている。

保険種類別被保険者数及び占有率(2019年)

保健種類	運営	被保険者数(人)	占有率(%)
統合健康保険(SIS)	官	19,729,544	55.2
社会保険(EsSalud)	官民	10,415,969	29.2
民間医療保険(EPS)	民間	2,900,173	8.1
民間損害保険会社提供の医療サービスプラン (Empresas de seguros)	民間	1,083,072	3.0
民間医療機関提供のプリペイド医療サービスプラン (Prepagas)	民間	950,289	2.7
国軍・国家警察向けの医療サービスプラン (FF. AA.)	官民	569,573	1.6
公社・省庁向け医療サービスプラン (Autoseguros)	民間	82,760	0.2
合計	-	35,731,380	100

(出所)Superintendencia Nacional de Salud「Anuario Estadístico Susalud 2019」



医療従事者の教育システム

- 医師は7年制、看護師・助産師は5年制となっている。

医療従事者の教育システム

種類	教育システム
医師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7年制(1年間の医療施設でのインターンシップを含む) ・ 国内のメディカルスクールは30校
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年制(1年間の医療施設でのインターンシップを含む) ・ 看護学校は公立(25)、私立(19)合わせて44校
助産師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年制(1年間の医療施設でのインターンシップを含む) ・ 看護学校は公立(11)、私立(14)合わせて25校

(出所) K.A.B.Abdulrahman, S.Mennin, R.Harden, et al.『Routledge International Handbook of Medical Education』(2016)、WHO『Mid-level Health Workers for Delivery of Essential Health Services』(2013)



規制(医療機器)

- 医療機器の販売には、事前に医薬品・医療機器総局(DIGEMID)に登録申請を行う必要がある。

医療機器登録制度

- 医療機器を販売するには医薬品・医療機器総局(DIGEMID)に登録申請する必要がある。
- 登録された機器は5年間有効となる。更新の際には、初回と同じ登録料を支払う。

クラス	内容	登録料	登録期間*
クラスI	リスクが低い医療機器	1,588ソル(約470USドル)	60日
クラスII	リスクが比較的低い医療機器	1,872ソル(約555USドル)	90日
クラスIII	リスクが比較的高い医療機器	1,980ソル(約585USドル)	120日
クラスIV	リスクが高い医療機器	2,166ソル(約640USドル)	120日

*申請が受理されるまでに、実際には4~6ヵ月を要する

登録保持者 (Peru Registration Holder: PRH)

- 国外の製造者は、医療機器登録にあたり、製品ごとにPRHを設置する必要がある。
- PRHとは認定された薬局・薬剤師である。
PRHは登録手続きを行い、機器のラベルにも責任者として名前を表示する必要がある。

(出所)EMERGO「Medical Device Regulation in Latin America」(2019)



規制(ヘルスケアアプリ)

- ヘルスケアアプリは医療機器に関する法律のほか、個人情報保護法にも留意する必要がある。

医薬品・医療機器・健康製品に係る法律

(Law No.29459: Law of Pharmaceutical Products, Medical Devices and Health Products)

- ペルーではソフトウェア単体でも医療機器とみなされる場合がある。その場合、国内での販売を行うためには、事前に医療機器登録を行う必要がある。

個人情報保護法

(Law No.29733: Law on the protection of personal data)

- 個人情報を扱う事業者は個人情報保護法の規定に従って、個人情報の取得・管理・加工を行わなければならない。取得した個人情報を国外に送る際は、ペルーと同等以上の法規制がある国でなければならないとされている。

遠隔医療の枠組みに係る法律

(Law No.30421: Telehealth Framework Law、修正:政令No.1303)

- 遠隔医療の実施・発展のために必要な規制等の制定を目的として、2019年2月、遠隔医療の枠組みに係る法律が承認された(最高政令003-2019-SA)。

(出所) Rojas-Mezarina et al「Need for the Development of a Specific Regulatory Framework for Evaluation of Mobile Health Apps in Peru: Systematic Search on App Stores and Content Analysis」(2020)



進出している日本企業

- ペルーに進出している保健分野企業は大企業が多い。
現地法人を設立している例は少なく輸出して現地販売代理店を通じた販売を行っている企業が多い。

保健医療分野のペルー進出企業

企業名	事業内容	進出形態	現地法人
テルモ	医療機器の販売	法人設立	Terumo BCT Peru
味の素	調味料等の製造・販売	法人設立	Ajinomoto del Peru
日立製作所	超音波診断装置、内視鏡の販売	輸出	-
オリンパス	内視鏡の販売	輸出	-
アトムメディカル	保育器の販売	輸出	-
日本光電	医療機器の販売	輸出	-
SONY	メディカルモニター、レコーダー、プリンターの販売	輸出	-
メイジテクノ	顕微鏡の販売	輸出	-
オムロンヘルスケア	健康管理機器の販売	輸出	-

(出所)東洋経済「海外進出企業総覧2019」、JETRO「ペルーにおける医療機器等の輸入/販売業者調査」(2018)



日本政府、JICA、国際機関の取組み

- 日本との関係では、中南米で最初に外交関係を樹立し、140年以上の友好関係を維持している。
- 約10万人の日系人を擁し、ペルー社会において顕著な活躍をしていることも友好関係が維持されてきた大きな要因となっている。
- 援助の重点分野として、「経済社会インフラの整備と格差是正」、「環境対策」、「防災対策」を掲げている。
- JICA民間連携事業の実績は中南米ではブラジル、メキシコに次いで3番目に多い。

保健医療分野のプロジェクト

プロジェクト名	支援スキーム	期間
保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	2018-2019年
医療系廃棄物適正処理事業調査(中小企業連携促進)	基礎調査	2014年7月-2015年2月
カハマルカ州の栄養失調対策プロジェクト	技術協力	2007年5月-2010年3月
国立障害者リハビリテーションセンター建設計画	無償資金協力	2010年
日本・ペルー友好病院建設計画	無償資金協力	1999年

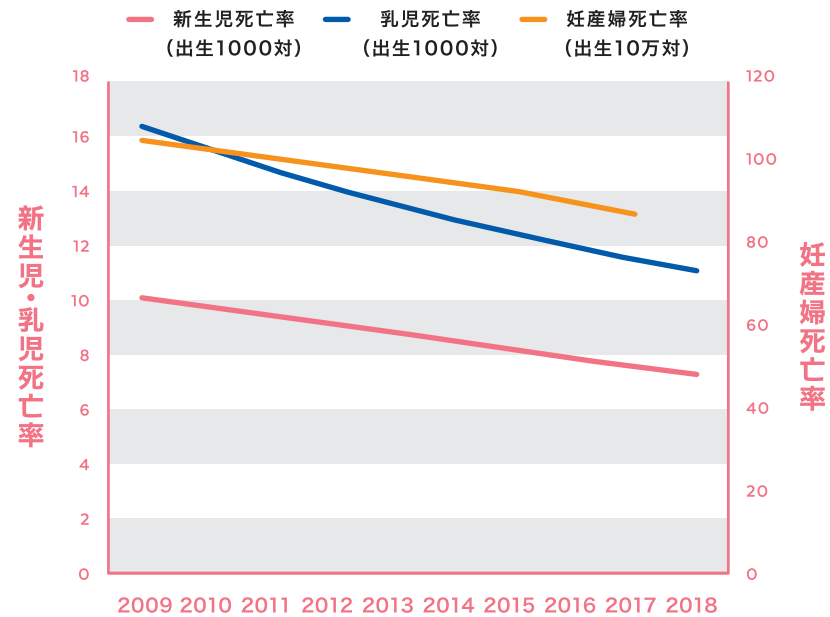
(出所)JICA「国別開発協力量針(旧国別援助方針)」(2017)、JICA「事業展開計画」(2019)、外務省「国別地域別政策・情報」(2020年9月時点での情報)



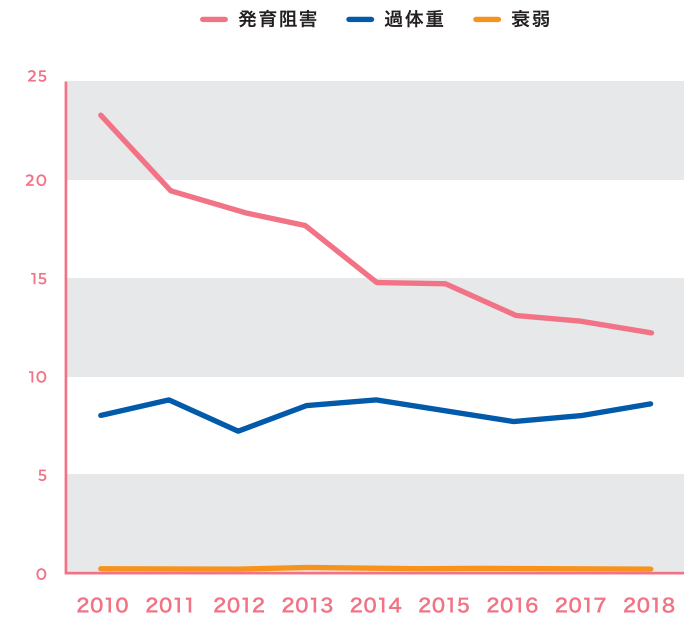
保健課題

- 母子保健関連の指標は改善傾向を示している。

母子保健の状況



5歳未満児の栄養の状況



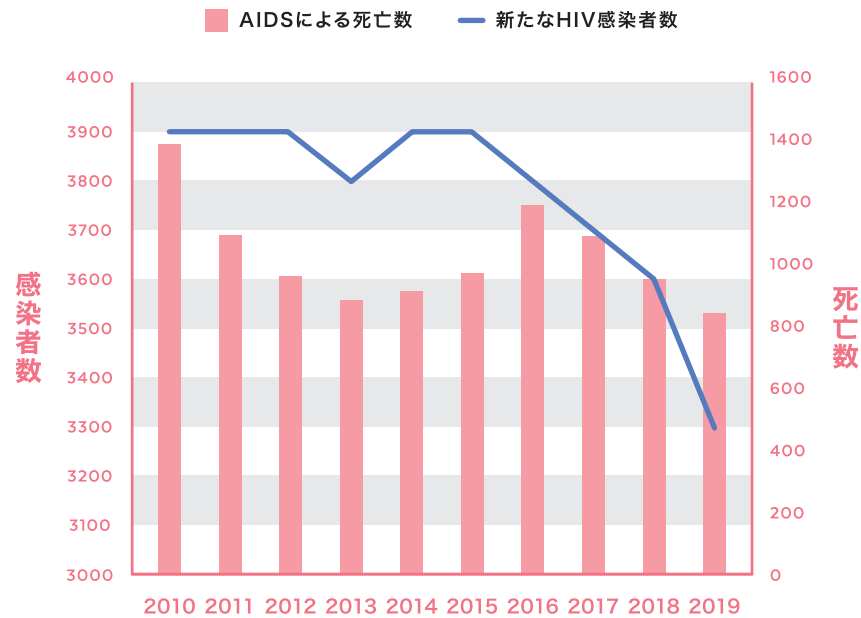
(出所) WHO「Maternal, Newborn, Child and Adolescent Health」(2020年8月時点での情報)、UNICEF「Monitoring the Situation of Children and Women」(2020年8月時点での情報)



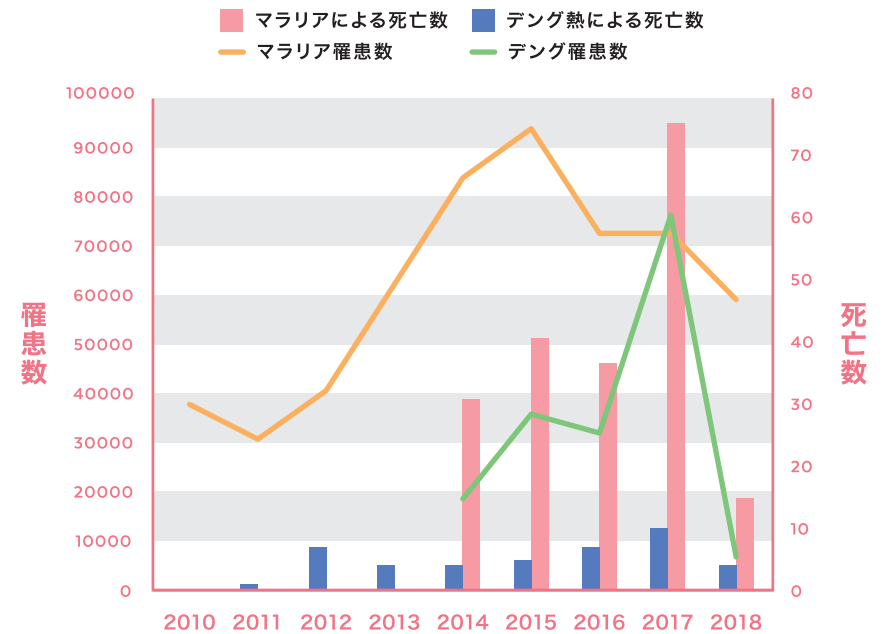
保健課題

- 感染症罹患の保健指標も概ね改善傾向を示している。

HIV/AIDS



ベクター媒介性感染症





保健課題

- 一方で、以下に示す通り、非感染性疾患の増加が目立つ。
- 15歳以上の約60%が過体重もしくは肥満とされている。
- 2019年6月より、基準値を超える塩分や糖分を含む食品は製品への警告表示が義務化されている。

ペルー死亡原因トップ10の推移

1990年

順位	原因		割合(%)
1	下気道感染	感染症	15.89
2	新生児障害	感染症	9.33
3	虚血性心疾患	非感染症	7.67
4	結核	感染症	5.59
5	脳血管疾患	非感染症	4.79
6	異物	事故等	4.65
7	下痢性疾患	感染症	4.64
8	交通事故	事故等	2.79
9	栄養障害	感染症	2.60
10	肝硬変	非感染症	2.54

2000年

順位	原因		割合(%)
1	下気道感染	感染症	12.38
2	虚血性心疾患	非感染症	9.59
3	新生児障害	感染症	5.91
4	脳血管疾患	非感染症	5.8
5	アルツハイマー病	非感染症	4.03
6	肝硬変	非感染症	3.7
7	交通事故	事故等	3.41
8	慢性腎臓病	非感染症	3.18
9	胃がん	非感染症	3.00
10	結核	感染症	2.95

2017年

順位	原因		割合(%)
1	下気道感染	感染症	11.74
2	虚血性心疾患	非感染症	10.66
3	アルツハイマー病	非感染症	7.19
4	脳血管疾患	非感染症	5.63
5	肝硬変	非感染症	3.92
6	慢性腎臓病	非感染症	3.73
7	交通事故	事故等	3.23
8	胃がん	非感染症	3.07
9	糖尿病	非感染症	3.03
10	間質性肺疾患	非感染症	2.69

(出所)Institute of Health Metrics and Evaluation「Global Burden of Disease Study」(2017)、JETRO「主要国・地域の健康長寿関連市場の動向調査」(2016)



保健課題

- 医療従事者はリマに集中しており、地方との格差も問題となっている。

州	医師	看護師	助産師	歯科医師	検査技師	保健エンジニア	栄養士	臨床心理士	薬剤師	合計	割合
Lima	8,366	7,297	2,256	841	255	10	374	532	677	20,608	29.8%
Arequipa	1,078	1,275	547	218	129	2	91	103	80	3,523	5.1%
La Libertad	1,070	1,244	626	112	138	0	99	56	110	3,455	5.0%
Cajamarca	681	1,430	791	164	121	1	37	50	70	3,345	4.8%
Cusco	822	1,186	657	188	135	0	38	70	66	3,162	4.6%
Puno	646	1,323	647	223	116	0	87	55	47	3,144	4.5%
Junín	607	1,196	656	243	21	2	36	60	65	2,886	4.2%
Piura	715	927	692	140	52	1	23	73	35	2,658	3.8%
Ancash	617	953	629	141	35	4	59	43	56	2,537	3.7%
Ayacucho	418	935	623	180	174	0	15	55	69	2,469	3.6%
Huánuco	400	1,034	707	155	13	0	16	68	16	2,409	3.5%
Lambayeque	613	840	424	83	114	2	49	64	29	2,218	3.2%
Callao	997	689	230	102	18	2	36	84	36	2,194	3.2%
Apurímac	404	864	402	167	62	2	28	59	49	2,037	2.9%
Ica	588	693	278	161	40	0	23	31	114	1,928	2.8%
Huancavelica	315	675	459	158	39	0	24	66	26	1,762	2.5%
Loreto	397	625	407	107	56	0	16	34	55	1,697	2.4%
San Martín	360	413	429	97	18	0	15	57	31	1,420	2.0%
Amazonas	247	426	279	77	48	0	11	30	14	1,132	1.6%
Ucayali	274	446	245	50	20	0	11	30	14	1,090	1.6%
Tacna	273	404	221	79	24	1	14	27	20	1,063	1.5%
Pasco	147	259	223	52	16	0	6	25	11	739	1.1%
Moquegua	138	242	113	47	11	0	21	37	15	624	0.9%
Tumbes	194	222	148	27	2	0	8	14	3	618	0.9%
Madre De Dios	132	205	115	37	23	0	14	16	9	551	0.8%
合計	20,499	25,803	12,804	3,849	1,680	27	1,151	1,739	1,717	69,269	100.0%

(出所) JICA「ペルー国災害時における救急医療に係る情報収集・確認調査ファイナルレポート」(2016)



ニーズが見込まれる製品・サービス

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
<ul style="list-style-type: none"> 健康管理機器 (家庭用バイタルモニター、 血糖値測定機等) 	<ul style="list-style-type: none"> リマ首都圏の若年層 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症罹患、母子保健関連の指標が改善傾向を示す一方、非感染性疾患の増加が目立つ 15歳以上の約60%が過体重もしくは肥満とされている 2019年6月より、基準値を超える塩分や糖分を含む製品は食品への警告表示が義務化されている 	<ul style="list-style-type: none"> 人口の約55%が20-64歳、約40%が20歳未満であり、これから消費が増える年齢層が多い 価格の安い中国、韓国製品が流通しており、競合製品との差別化が必要
<ul style="list-style-type: none"> 個人向け健康管理アプリ (運動・食事管理・ 生活習慣改善アプリ等) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症罹患、母子保健関連の指標が改善傾向を示す一方、非感染性疾患の増加が目立つ 15歳以上の約60%が過体重もしくは肥満とされている 2019年6月より、基準値を超える塩分や糖分を含む製品は食品への警告表示が義務化されている 	<ul style="list-style-type: none"> 市場規模は6,000万USドル(2019年)から6億6,000万USドル(2026年)へと大きく伸展する見込み オペレーティングシステム(OS)はアンドロイドが主流 現地での普及には現地カスタマイズが重要
<ul style="list-style-type: none"> 遠隔診療システム (オンライン診療・ 健康医療相談、 遠隔トリアージシステム等) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン利用者 地方部・都市部の 医療施設 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の約4割が首都リマに集中しており、地方との格差が問題となっている コロナ禍において、遠隔診療は医療従事者と患者の接触を減らし、院内感染の防止に繋がる技術として、急速に成長している 	<ul style="list-style-type: none"> 市場規模は9,000万USドル(2019年)から3億1,300万USドル(2026年)へと伸展する見込み ペルー企業その他、ブラジル、コロンビア、欧州企業も参入している 国際的なオンライン診療はハードルが高く、国内の医師と患者を繋ぐシステム構築が基本となる

健康管理機器





業界構造

- 一般的な健康機器の商流としては、海外で製造された製品をペルーの販売業者が輸入し、一般消費者や民間企業へ販売する。
- 輸入業務を行う販売業者もあれば国内の卸販売のみ行う販売業者もある。
- 販売業者は国内で販売を行う前に、医薬品・医療機器総局(DIGEMID)に製品の登録申請を行う必要がある。





市場規模

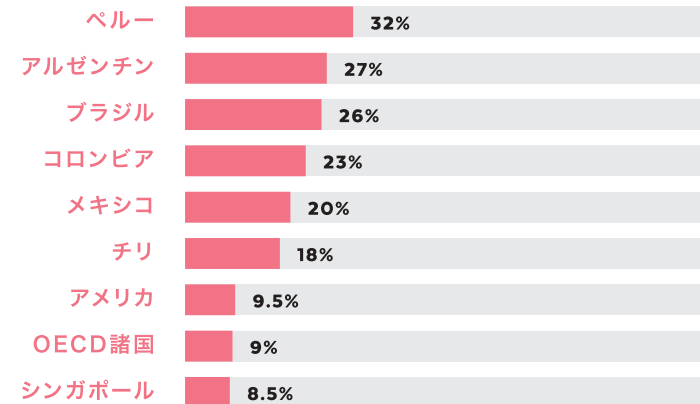
- ペルーの貨物取扱量の約3/4を扱うカジャオ港が、人口の1/3が集中する大消費地の首都リマにあるため、港からリマ中心地への内陸輸送コストは安い。
- 一方で、交通インフラ整備の低さなどから、国内のロジスティックコストは高く、アレキパなど地方都市への進出はコスト面から考えて困難である。
- このような特徴から、首都リマを市場と捉えるのが基本となる。



健康機器の市場規模

- リマ首都圏の若年層(20~64歳)約580万人

生産価格に占める輸送費の割合



(出所) Jose Luis Guasch「Logistics as a Driver for Competitiveness in Latin America and the Caribbean」(2011)



競合製品・サービス

- 健康意識の高まりから、家電量販店でも健康管理機器やフィットネス用品が多数販売されている。
- 近年はスマートウォッチなどのウェアラブル機器の分野で中国・韓国メーカーが参入している。

健康管理機器

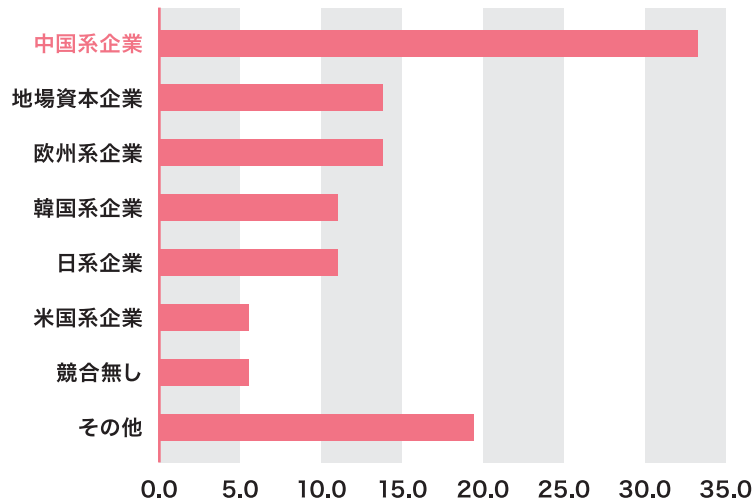
- 体組成計・体脂肪計・体重計：
Conair、SOEHNLE、Look And、Senssun、
Huawei、Camry、SECA
- フィットネス機器：Muvo by oxford、
Monark、Gym Master、Gotrax、Sport
Fitness、LIVEUP SPORTS
- マッサージ機器：HoMedics、SEC
- 血糖値測定器：Roche DC、Freestyle、Beurer
- 血圧計：SOEHNLE、OMRON、CITIZEN、ALP K2、
Microlife、A&D
- 体温計：BBLOVE、DEIMEL
- スマートウォッチ：Xiaomi、Huawei、Avengers、
Samsung、Roadtrip、Radioshack



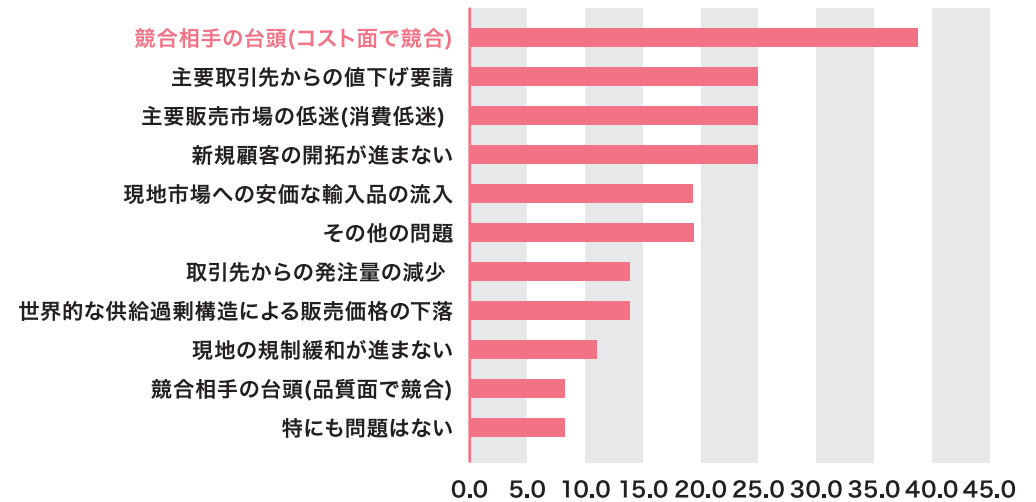
日本企業の進出可能性(進出形態)

- ペルーは日本と自由貿易協定(FTA)を締結していることから、まずは輸出からスタートし、事業拡大に伴い現地拠点を設立する流れが考えられる。
- ただし、ペルーは一貫して開放経済政策を採っており、中国や韓国ともFTAを締結している。
- 日本企業と競合関係にある企業をみると、「中国企業」の割合が高く、「コスト面での競合」が問題点の上位に挙げられている。
- そのため、ペルーの市場で勝負するためには、高付加価値の製品・サービスを展開する等、価格の安い海外・地場製品との差別化が必要である。

同業種の競合相手



販売・営業面の問題点(複数回答可)



(出所) JETRO「中南米進出日系企業実態調査」(2019)



日本企業の進出可能性 (周辺国への事業展開可能性)

- ペルー、メキシコ、コロンビア、チリは、域内の物品、サービス、人の移動の自由を目的として、太平洋同盟を形成している。
- 太平洋同盟加盟国の単純平均関税率は全て1桁台となっており、輸入者の負担は小さい。中でも、ペルーの平均関税率は2.4%と最も低くなっている。
- ペルー1国の市場はそこまで大きくはないが、4国を一体として広く面として捉えることで、大きなビジネスの市場が見えてくる。

中南米諸国のMFN税率(2018年)

関税同盟	国	関税品目数	単純平均関税率	無税比率	税率15%超割合
太平洋同盟	ペルー	7,789	2.4	68.1	0.0
	メキシコ	12,535	7.0	49.6	12.1
	コロンビア	7,707	5.4	51.1	0.9
	チリ	8,577	6.0	0.7	0.0
メルコスール	ブラジル	10,264	13.4	5.1	35.0
	アルゼンチン	10,032	13.6	5.9	36.4
	ウルグアイ	11,945	10.3	14.8	33.1
	パラグアイ	10,313	9.8	13.8	27.3

(出所)WTO「World Tariff Profile 2019」



パートナーとすべき現地企業の特徴

- 輸出ビジネスの際に最も重要なパートナーは現地の輸入販売業者となるが、選定のポイントは以下のとおり。
- 1 現地の医療機器登録手続きに慣れている。
 - 慣れているかどうかで医療機器登録に要する時間が異なる。
- 2 ターゲットとする販売チャネルとのネットワークがある。
 - 公的病院に強い業者、一般家庭向けの商材を扱う業者など、各社の特徴を分析した上で適切なパートナーを選定することが重要である。
- 3 日本企業との取引実績がある。
 - 日本の商習慣への理解があると、コミュニケーションが取りやすい。
- 4 外国製品の導入に積極的である。
 - 貿易実務に慣れている。また、英語での取引ができる可能性が高い。
- 5 一定の企業規模(従業員数・資本金・売上高等)である。
 - 現地での販売には医療機器登録が必要なため、実質的にはパートナー企業が独占的な販売権を持つことになる。そのため、一定の規模で体力のある企業を選定することが望ましい。



現地パートナー候補リスト

医療機器ディストリビューター①

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
Tecnologia Industrial y Nacional S.A.	リマ	医療機器全般	http://www.tecnasaweb.com
A Jaime Rojas Representaciones Grles S A		医療機器全般	http://www.ajaimerojas.com
Tecnomed S A		医療機器全般	www.tecnomed.com.pe
Master Medic S.A		入院用ベッド、照明機器、検眼鏡、耳鼻咽喉科機器、除細動器、麻酔器など	http://www.mastermedic.com.pe
Nova Medical S.A.C.		保育器、高周波ベンチレーター、バイタルサインモニタ、除細動器など	http://www.novamedperu.com/
A. Tarrillo Barba S.A.		歯科医療機器、測定器、救急医療用機器、手術用機器など	http://www.tarrillobarba.com.pe
Multimedical Supplies SAC		人工呼吸器、集中治療室用機器、麻酔用機器など	http://www.multi-medical.com/
JP Rehab S.R.L.		リハビリ用機器全般	http://www.jprehab.com/
Promed Eirl		手術用器具、心電計、血圧モニタ	http://www.promed.com.pe/
Open Medic S.A.C		外科手術用機器、眼科医療機器、腹腔鏡検査器など	http://www.openmedicperu.com/
Sistemas Analiticos SRL		検査用機器、血液バンク用・臓器移植用機器など	www.sistemasanaliticos.com
Lifetec Sociedad Anonima Cerrada - Lifetec SAC		手術用機器・器具、人工呼吸器	http://www.lifetecperu.com.pe/
Bioimagen S.A.C		超音波診断装置、心電計、血圧計など	http://www.bioimagen.com.pe
Cardiopulmonary Care Sociedad Anonima Cerrada		心電計、手術用器具など	https://cardioperu.com/

(出所)JETRO「ペルーにおける医療機器等の輸入/販売業者調査」(2018)



現地パートナー候補リスト

医療機器ディストリビューター②

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
Signomed S.A.C.	リマ	手術用機器・器具、手術室機材、手術用品	http://www.signomed.com/
Albujar Medica S.A.C.		保育器、高周波ベンチレーター、バイタルサインモニタなど	http://www.albujarmedica.com.pe
Diagnostica Peruana S.A.C.		検査用機器、救急用機器など	http://diagnosticaperuana.com.pe/
Surgical Medical S.R.LTDA		手術用機器、内視鏡検査用機器、歯科用機器など	http://www.surgicalmedical.net
Phymed Srltda		主にリハビリ用機器	http://phymed.com.pe
Medispec Peru S.A.C.		パルスオキシメトリ、電気外科手術用機器、心電計、麻酔器、消毒用品など	http://www.medispecperu.com/
Global Med Farma S.A.C		手術室用照明機器、麻酔器、心電計、滅菌器、ベッド、検査機器・器具など	http://www.globalmed.com.pe/
Phonix World S.A.C		顕微鏡/耳鼻咽喉科用、耳鼻咽喉科用カメラ、補聴器、耳鼻咽喉科手術用機器	http://www.phonixworld.com/
Jampar Multiplest Internacional S.R.L.		検査用機器	http://www.jampar.com.pe
Kossodo S.A.C.		主に検査用機器	http://www.kossodo.com
H.W.Kessel S.A.C.		検査用機器など	http://www.hwkessel.com.pe/
Deuce Peru Sociedad Anonima Cerrada		心電計、胎児心拍検出器、手術用ベッド・照明、検査用機器など	http://deuceperu.pe
Ferco Medical S.A.C.		手術道具洗浄機器、その他の機材洗浄用道具など	http://ferco-medical.com

(出所)JETRO「ペルーにおける 医療機器等の輸入/販売業者調査」(2018)



参入事例

名称

オムロン・ヘルスケア株式会社

Ferval Baby Care, SAC

Av. Reducto 1370, office 503.

Miraflores Lima, Peru

0 800 78 271

<https://www.facebook.com/FervalBabyCare/>

企業情報

- オムロン株式会社(京都市、東証1部上場)の完全子会社。
- 健康機器の開発・販売を行っている。

製品・サービス

- 血圧計、吸入器、体組成計、心拍計、体温計、フィットネス用機器など。

ビジネスモデル概要

- グローバル展開しており、中南米地域では、ブラジル(製造・販売)、メキシコ(販売)に現地法人がある。
- ペルーには現地拠点はなく、現地の販売代理店(以下)を通じて製品の販売を行っている。

(出所)オムロン・ヘルスケア(株)ホームページ(2020年9月時点での情報)

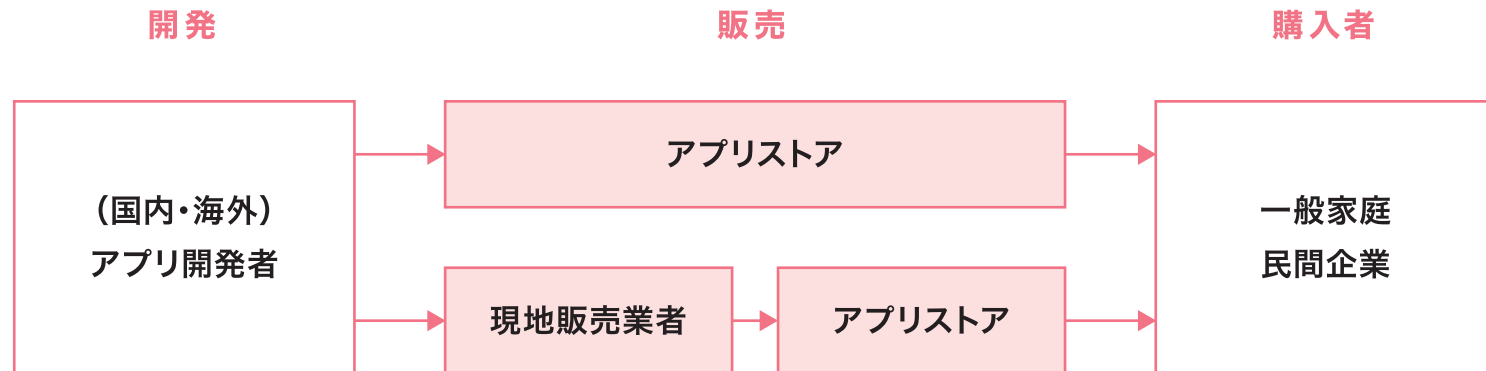
個人向け健康管理アプリ

2



業界構造

- 国内/海外のアプリ開発者は直接アプリストアを通じてペルー国内での販売が可能である。
- ペルーではソフトウェア単体でも医療機器とみなされる場合がある。
そのため、治療用アプリなど薬事法上承認取得が必要なアプリは、医療機器登録が必要となる。
その場合は、医療機器登録資格を有する現地販売業者を通じて販売するか、
または現地法人を設立して登録手続きを行うこととなる。

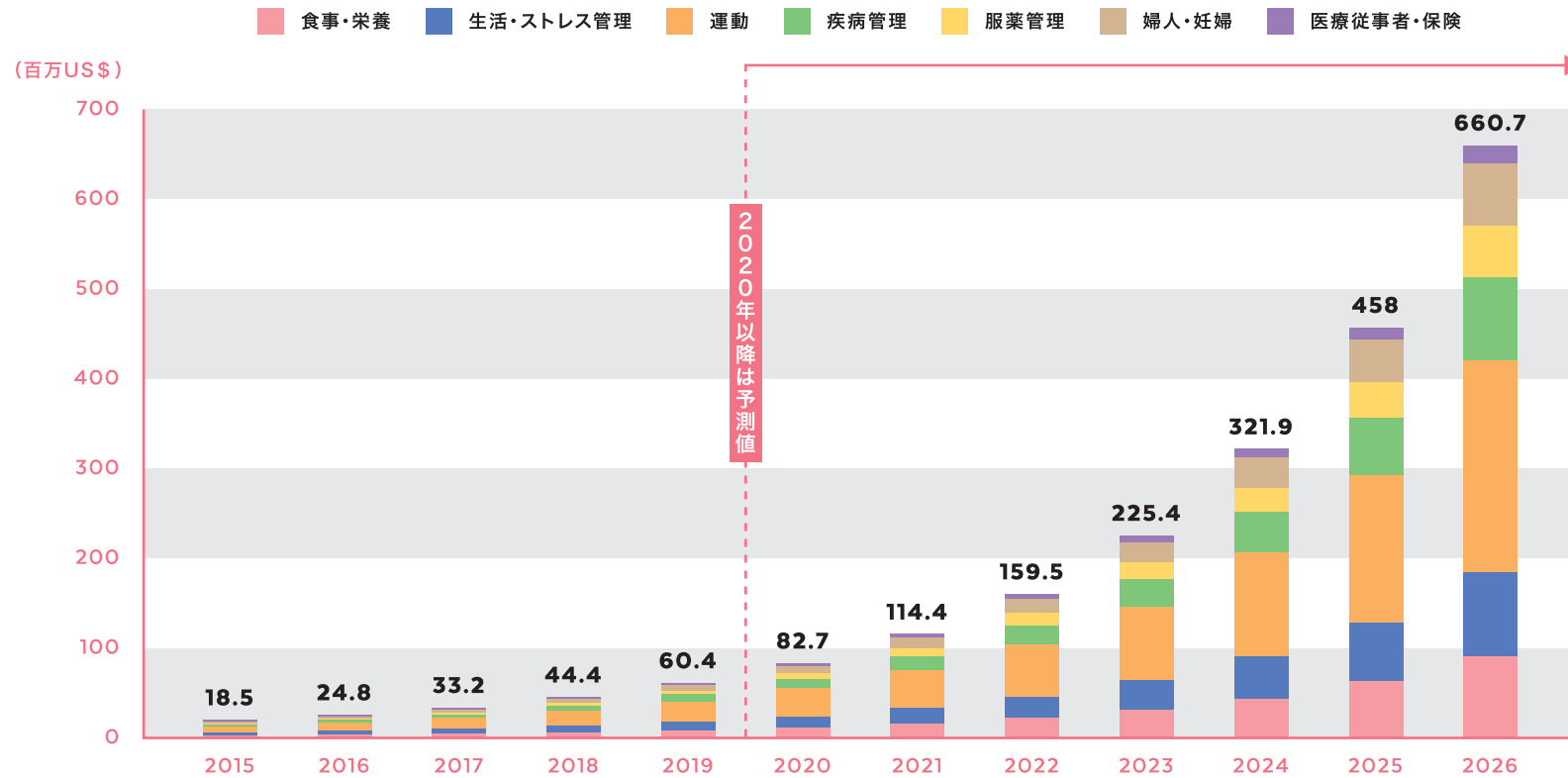




市場規模

- 市場全体が大きく成長していく見込みであるが、なかでも運動、食事・栄養、生活・ストレス管理など、非感染症対策に資する分野に大きな需要が見込まれる。

ペルーにおける健康管理アプリの市場規模



(出所) Global Market Insights 「Latin America mHealth Market Report, 2026」



競合製品・サービス

- オペレーティングシステム (OS) はアンドロイドが主流(89.5%)である。
- そのため、現在ペルーで流通している医療系アプリのうち、65%がアンドロイドのみに対応、35%がアンドロイドとiOS両方に対応する仕様となっている (iOSのみに対応しているものは無し)。

個人向け健康管理アプリ

mySugr

(糖尿病患者向け健康管理アプリ)

Diabetes:M

(糖尿病患者向け健康管理アプリ)

BloodPressureDB

(血圧管理アプリ)

Sanvello for Anxiety, Depression & Stress

(ストレス、不安、うつ病への対処アプリ)

Calendario Menstrual

(女性向け体調管理カレンダーアプリ)

Mi Calendario de Embarazo

(妊娠中に役立つ情報発信アプリ)

Ada-Tuguía desalud

(患者の症状からアドバイスを提供するアプリ)

Disorder & Diseases Dictionary

(1,000以上の疾病情報が掲載された医療辞典アプリ)



日本企業の進出可能性(進出形態)

- 現地カスタマイズ(スペイン語への翻訳、現地の食文化・生活習慣に合わせたコンテンツ制作など)が普及のカギとなるため、事前の現地調査が重要となる。
- 日本のアプリ開発者が直接アプリストアを通じて販売が可能である。ただし、自社での顧客サポート体制の構築が困難な場合は、現地パートナーを探す必要がある。
- 治療用アプリなど薬事法上承認取得が必要なアプリの場合は、事前に医療機器登録が必要となる。その場合、現地拠点を設立して自社で登録・販売を行うか、または登録資格を有する現地販売業者を通じて販売することとなる。



日本企業の進出可能性 (周辺国への事業展開可能性)

- 日本のアプリ開発者が直接アプリストアを通じて販売が可能であるため、比較的容易に周辺国への展開が可能である。
- ペルーの次の展開国としては、メキシコやコロンビアなどペルーと同じスペイン語圏の周辺国が考えられる。
- ただし、運動・食事管理、生活習慣改善アプリはその性質上、国ごとの食文化・生活習慣の違いに留意しながらローカライズを行うことが普及のカギとなる。



パートナーとすべき現地企業の特徴

1 ソフトウェア開発業者

- スペイン語への翻訳、アプリ開発を担当する。
- 企業によって、企業向けのソリューションシステム開発やウェブサイトデザイン、広告など得意分野は異なる。
- パートナーとして、エンドユーザー向けのモバイルアプリ開発の経験が豊富で、かつ保健医療分野の実績がある企業が望ましい。

2 フィットネスジム/フィットネス用品販売店

- フィットネスジムの利用者は中高所得層が多く、健康意識も高いことから、運動・健康管理アプリの顧客となる可能性が高い。
- アプリの導入によってフィットネスジムの顧客定着にも繋がるのが期待できるため、パートナーとして相性が良いと考えられる。



現地パートナー候補リスト

ソフトウェア開発企業リスト

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
DoApps	リマ	保健分野では、健康・フィットネスアプリ開発の経験がある。 その他、金融、教育、地図、コミュニケーションアプリなどの開発実績あり。	https://www.doapps.me/
Tekton Labs		国際機関や大学、グローバル企業など多くのクライアントを有する。 保健分野の実績として、SANNA(病院検索・予約システム)がある。	https://www.tektonlabs.com/
Glajumedia		運動・食事管理アプリ「Food Lovers」の開発を手掛けた。 分野を問わず、豊富なモバイルアプリの開発経験を有する。	https://www.glajumedia.com/
Peru Apps		金融、小売、自動車、商用分野でのアプリ開発。 日本企業との取引経験も有する。	https://peruapps.com.pe/
Masuno		幅広い業界・分野でのアプリ開発。BMW、SAMSUNG、 STARBUCKSなど、海外企業との取引経験も多数有する。	https://www.masuno.pe/
Aetos Peru		販売やマーケティング、顧客とのコミュニケーションなどを 目的とした、エンドユーザー向けのアプリ。	https://www.aetosperu.com/index.html

(出所) 各社ホームページ(2020年9月時点での情報)



現地パートナー候補リスト

フィットネスジム

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
Latido CrossFit	リマ	高所得者が多いミラフローレス地区に位置する。フィットネスクラス、栄養・食事に関する指導プログラムを提供している(2020年9月現在、オンラインでのフィットネスクラスのみ開催)。フィットネスクラスは90ソル/月から。	https://latidocrossfit.com/
SmartFit Peru		ミラフローレス地区に位置するフィットネスジム。69.9ソル/月から。筋力トレーニングやフィットネスプログラム、ダンスクラスなどを提供している。	https://www.smartfit.com.pe/
San Isidro Gym Fitness		高級住宅街であるサン・イシドロ地区に位置する。70ソル/月、160ソル/月(個人レッスン)から。フィットネスプログラム、ダンスクラスなどを提供している。	http://msi.gob.pe/portal/servicios-sociales/deporte/gimnasio/
Bodytech		高級住宅街のラ・モリーナ地区に位置する。フィットネスクラスや栄養・食事に関する指導プログラムを提供している。	https://bodytechperu.com/
JP Fitness Peru		セントロ地区に位置する。対面でのトレーニングプログラムは350ソル/月から。対面だけでなく、オンラインでのトレーニングプログラムも提供している。	http://jpfitnessperu.com/
Top Body		ラ・ビクトリア区に位置する。フィットネスクラスや栄養・食事に関する指導プログラムを提供している。	http://www.topbodyperu.com/

フィットネス用品販売店

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
Natural Fitness Perú	リマ	リマ市東部のサンタ・アニタ地区に位置する。トレーニング用品を販売している。	https://www.inaturalfitness.com/index.php
Fitness Pro		スルキージョ地区に位置する。フィットネス用品、トレーニング機器を販売している。	https://powerfitnesspro.com/
Sport Fitness Peru		アテ地区に位置する。フィットネス用品、トレーニング機器、健康食品などを販売している。	https://sportfitness.com.pe/

(出所) 各社ホームページ(2020年9月時点での情報)



参入事例

名称

my Sugr

Accu-Chek Perú

Calle Dionisio Derteano 144,

San Isidro, Lima, Peru

0 800 00 388

<https://www.accu-chek.com.pe/>

製品・サービス

- 糖尿病管理のためのアプリケーション「my Sugr」。ロシュ社の血糖値測定機と連携しており、アプリ内で血糖値等の管理ができる。蓄積されたデータはPDFやエクセルでダウンロードができるようになっており、医師の診察に活用することが可能である。
- アンドロイド、iOS両方に対応している。
- 英語、スペイン語など22言語に翻訳されている。
- 現在世界で200万人の登録ユーザーがいる。

企業情報

- my Sugr社は2012年にオーストリアで設立された、糖尿病管理アプリケーション「my Sugr」の開発・運営会社。
- スイスに本社を置く製薬大手ロシュ・グループの一員である。ロシュ社の糖尿病部門ではAccu-Chekというブランドのもと、40年以上にわたり糖尿病関連製品・サービスを提供している。

ビジネスモデル概要

- 機能が限定されたフリー版「my Sugr」と全ての機能が使える有料版「my Sugr Pro」があり、アプリサービス料が収益となっている。
- ペルーにmy Sugr社の拠点は無く、ロシュ社の現地拠点Accu-Chek Perúが同社の糖尿病関連機器の販売と併せて「my Sugr」のサービス提供を行っている。

(出所)my Sugrホームページ(2020年9月時点での情報)

3

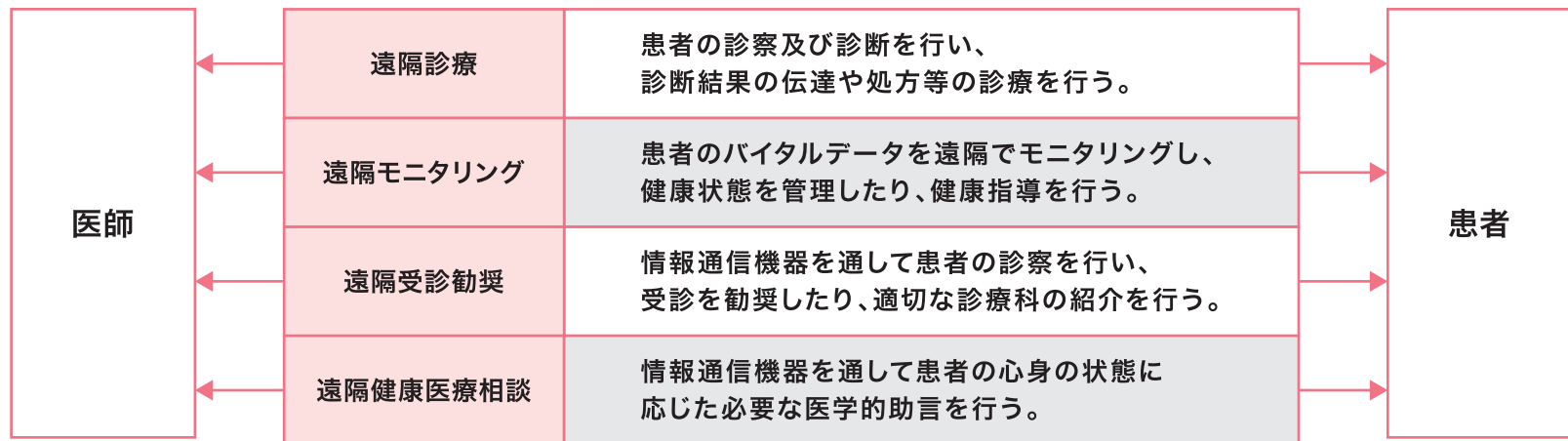
遠隔診療システム



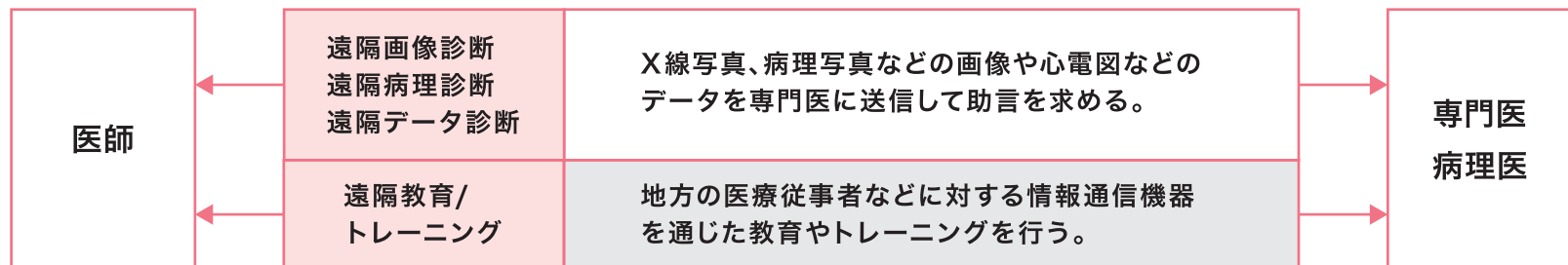
業界構造

- 遠隔診療は医師と患者を結ぶ技術(DtoP)、医師同士を結ぶ技術(DtoD)に分けられる。

医師と患者を結ぶ(DtoP)



医師同士を結ぶ(DtoD)



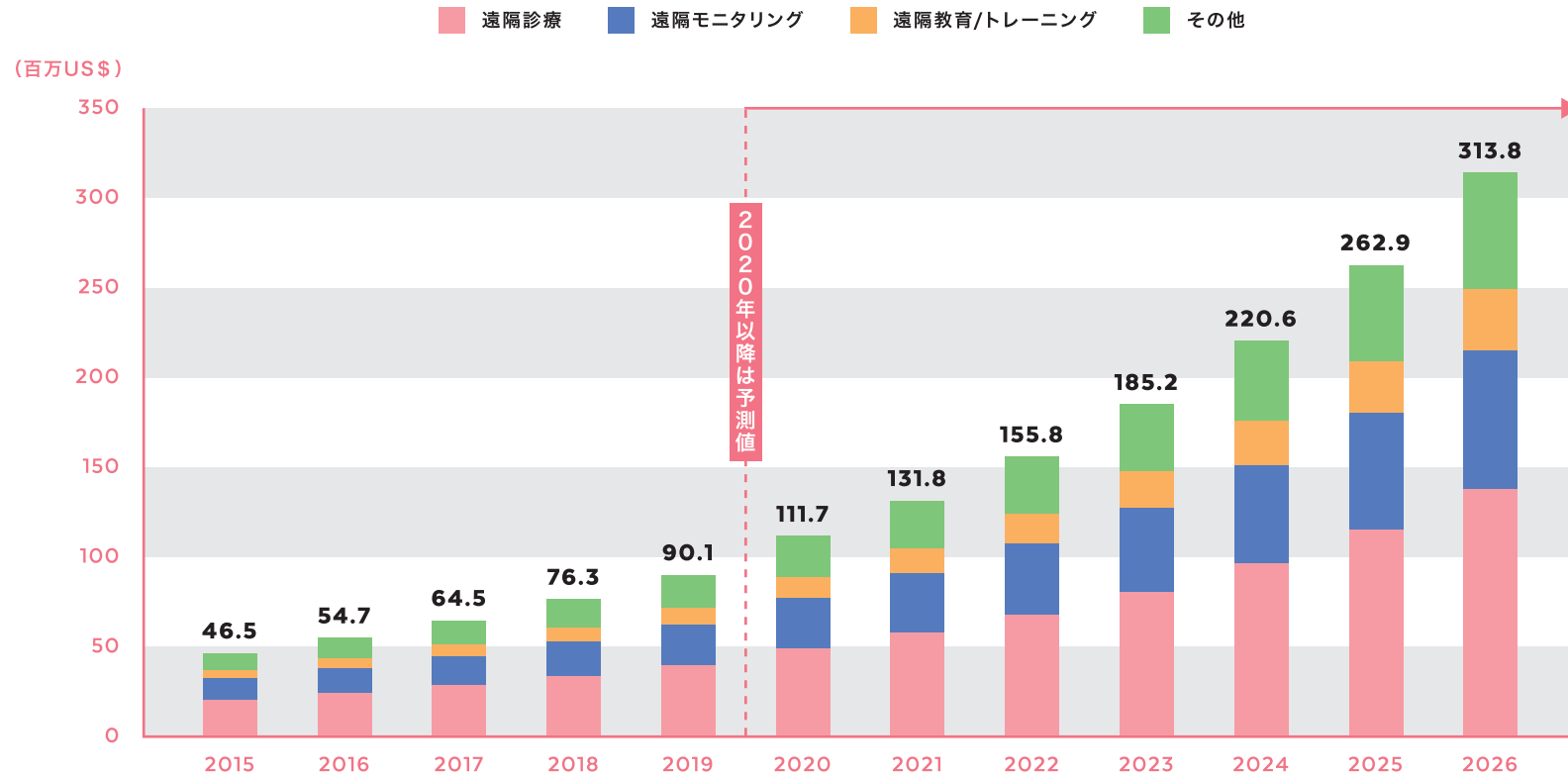


市場規模

- 市場全体が大きく成長していく見込みである。

遠隔診療はコロナ禍において、人との接触を減らし、院内感染を防止する技術としても注目されている。

ペルーにおける遠隔診療システムの市場規模



(出所) Global Market Insights 「Latin America Telemedicine Market Report, 2026」



競合製品・サービス

- 遠隔診療、遠隔受診勧奨、遠隔健康医療相談、DtoD向けの遠隔画像診断サービスが存在している。
- 現地企業その他、欧州、ブラジル、コロンビアの企業もペルーでサービスを提供している。

遠隔診療システム

ITMS Perú

(遠隔画像診断、遠隔データ診断などDtoD向けサービスを提供している)

1DOC3

(患者の症状から原因を分析する。ウェブを通じて医師への質問・相談も可能)

Smart Doctor

(オンラインで診療が受けられる。処方も可能)

Boa Consulta

(患者の近くにいる医師・医療従事者とのマッチングを行うアプリ)

Chat Médico mediQuo

(ウェブのチャット機能で医者や医療従事者への相談ができるアプリ)



日本企業の進出可能性(進出形態)

- 日本の医師とペルーの患者を繋ぐような国際的なオンライン診療は、どちらの国の医師法に準ずるのが明確でないことからハードルが高い。
- そのため、ペルー国内の医師とペルー国内の患者を繋ぐ遠隔診療システムを構築するのが基本となる。
- 医学的判断を伴わない遠隔健康医療相談の場合は、スペイン語に翻訳したアプリケーションをアプリストアに公開することで事業を開始できる。
- 遠隔健康医療相談の場合は、言語の問題はあるが、日本の医師とペルーの患者を遠隔で繋ぐ形態も可能である。



日本企業の進出可能性 (周辺国への事業展開可能性)

- 国際的なオンライン診療は実現が難しいため、ペルーの医師・医療機関とのネットワークをそのまま海外事業で活用するのは難しい。
- 一方で、医師の医学的判断を伴わない遠隔健康医療相談であれば、ペルーの医療従事者と海外の患者を繋ぐことも可能であり、比較的容易に海外事業展開が可能である。
- 遠隔健康医療相談の場合、メキシコやコロンビア、アルゼンチンなどペルーと同じスペイン語圏はコンテンツの翻訳等の必要がないため有望である。
- 中南米諸国では公的病院で働く医師が、民間病院・クリニックでの勤務を掛け持ちしているケースが多く見られる。これは収入を補填するために行われていることが多く、空いた時間を効率的に活用できる遠隔診療は医師側のニーズにも合致すると考えられる。



パートナーとすべき現地企業の特徴

1 医療機関

- 遠隔診療システムの実証試験を行う際の協力パートナーや将来のシステム導入先候補として、リマ市内のリファラル上位医療施設との連携が考えられる。

2 通信事業者

- 遠隔診療では、個人の健康情報という重要な個人データを扱うことから、セキュリティの高く安定した通信サービスを提供している通信事業者との連携が考えられる。

3 現地専門家

- 実証試験等の現地協力パートナーとして、また現地の遠隔診療の現状に関する情報収集などを行う際に、研究機関など専門家のサポートが重要となる。



現地パートナー候補リスト

医療機関リスト

機関名	エリア	事業内容	URL
Arzobispo Loayza (アルソビスポ・ロアイサ病院)	リマ	リマ市中央部に位置し、1549年に診療を開始した病床数802床を有する国内最大の総合病院である。特に低所得者層に対する医療サービスの提供を行う施設として全国から患者を受け入れている。合計26の専門診療科を有し、年中無休で診療している。	http://www.hospitalloayza.gob.pe/MVC_Controlador/IndexC/indexC.php?acc=AcercaNosotros001
Sergio Bernales (セルヒオ・ベルナレス病院)		リマ市北部に位置する病床数300床の3次医療施設である。リマ市北部のトップレファラル病院に位置付けられており、カバー人口は約300万人である。合計27の専門診療科を有する。	https://portal.hnseb.gob.pe/
Maria Auxiliadora (マリア・アウシリアドラ病院)		リマ市南部に位置する病床数300床の3次医療施設である。南部唯一の3次医療施設であることから、リマ市13地区に加えイカ州まで対象地域としている。1990～2000年に、JICAの支援により小児科病棟と産婦人科病棟が整備されている。合計19の専門科目を有する。	http://www.hma.gob.pe/
Jose Casimiro Ulloa (ホセ・カシミロ・ウジョア病院)		リマ市中央部に位置し、病床数82床の救急専門病院である。脳神経外科対応が24時間可能な唯一の病院であるため、3次医療施設からも患者が搬送されている。脳神経外科、内科、外科、トラウマ科を有する。	https://www.hejcu.gob.pe/
Hipólito Unanue (イポリト・ウナヌエ病院)		1949年に建設された病床数600床の3次医療施設であり、対象人口はリマ市7地区の約280万人である。患者の約80%はSIS加入者であり、診療科は内科・外科・産婦人科・小児科に加え、呼吸器科や胸部・心臓血管外科など複数の専門科も有する。	http://www.hnhu.gob.pe/Inicio/
San Borja (サン・ボルハ小児病院)		国内に2か所ある小児外科専門病院の1つである。病床数はICU50床を含む300床である。	http://www.insnsb.gob.pe/
Cayetano Heredia (カエタノ・エレディア病院)		リマ市北部に位置する1968年に開設された総合病院である。病床数はICU57床を含む430床である。	http://www.hospitalcayetano.gob.pe/PortalWeb/
Dos de Mayo (ドス・デ・マヨ病院)		リマ市の中心部であるセルカド地区に位置し、アルソビスポ・ロアイサ病院と並ぶ歴史の古い病院である。病床数はICU71床を含む586床である。	http://hdosdemayo.gob.pe/portal/

(出所)JICA「ペルー国災害時における救急医療に係る情報収集・確認調査」(2016)



現地パートナー候補リスト

通信事業者リスト

会社名	エリア	事業内容/取扱製品	URL
Movistar Peru	リマ	スペイン通信大手テレフォニカ傘下の企業。ペルーの通信事業者最大手。 2014年1月に国内初のLTEサービスの提供を開始。	https://www.movistar.com.pe/
Claro Peru		Movistar Peruに次いで、通信サービス業界2番手。 メキシコのAmerica Movilの子会社。	https://www.claro.com.pe/personas/
Entel Peru		ペルーの通信事業業界3番手。チリ資本。 2013年8月に米NII Holdings からNextel del Peruを買収。	https://www.entel.pe/
Viettel Peru (Bitel)		ベトナム資本Viettelが出資する企業。2014年7月に参入し、業界4番手。	https://bitel.com.pe/

現地専門家(医師・医療従事者、大学など)

団体名	エリア	事業内容	URL
マヨール・デ・サン・マルコス国立大学 (Universidad Nacional Mayor de San Marcos)	リマ	1551年設立。アメリカ大陸最古の公立大学。ヘルステックのイノベーション・研究開発を目的として、2017年5月、医学部に新たに遠隔診療ユニットが設立された。	https://medicina.unmsm.edu.pe/index.php/en/features/unidad-de-telesalud
マヨール・デ・サン・マルコス国立大学 (Universidad Nacional Mayor de San Marcos)		リマの私立大学。2010年に開始した「WawaRed Project」では、保健省と協働で母子保健向上のための医療施設間でのデータ連携システム構築・活用を行い、一定の成果を出している。	https://www.cayetano.edu.pe/cayetano/es/
Peruvian American Medical Society		医師や医療従事者・非医療従事者で構成される非営利団体。 貧困地域へ医療サービスを届けるための活動を行っている。	https://www.pams.org/

(出所) 各社ホームページ(2020年9月時点での情報)、
総務省「世界情報通信事情」(2020年9月時点での情報)



参入事例

名称

1DOC3

CALLE 106 19 A 51 AP 507 BOGOTA,
D.C. Colombia
contact@1doc3.com
<https://www.1doc3.com/>

製品・サービス

- 患者が症状を入力することで、原因を予測して、次のアクションを提案するサービス、匿名でテキストを使った医師への相談・質問ができるサービス。
- 同社のウェブサイト、モバイルアプリを通じてサービスが提供されている。モバイルアプリはiOSとアンドロイド両方に対応している。
- 言語はスペイン語のみに対応している。

(出所) 1doc3 ホームページ(2020年9月時点での情報)

企業情報

- 2014年コロンビア・ボゴタで設立された。遠隔医療相談サービスを提供している。
- 米州開発銀行から、優れたスタートアップ企業として Greatest Social Impact 2015を受賞している。
- スペイン語圏の国への事業展開を積極的に行っている。主な展開先としては、ペルーの他、メキシコ、アルゼンチン、エクアドル等。
- 現在毎月100万人以上が同社のサービスを利用している。

ビジネスモデル概要

- 患者からサービスの利用料を得る仕組みとなっている。
- また、匿名で収集した患者からの相談・質問データは分析され、政府機関や保険会社、製薬会社等へ販売される。
- ペルーに現地拠点は無し。同社はプラットフォームを運営し、ペルーで登録されている医師によりサービスが提供される仕組みとなっている。



医療機器・医療サービスの参入可能性

	①非感染症の増加		②地域の医療格差
課題・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・非感染性疾患の増加が目立つ。 ・15歳以上の約60%が過体重もしくは肥満とされている。 ・2019年6月より、基準値を超える塩分や糖分を含む食品は製品への警告表示が義務化されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者はリマに集中しており、地方との格差が問題となっている。
現地ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・一般家庭向けの肥満予防・健康増進のための製品・サービス ・病院に行かなくても簡単に健康状態をチェックできるツール 		<ul style="list-style-type: none"> ・地方部の患者と医師を繋ぐ遠隔診療技術 ・遠隔診療は、コロナ禍において、医療従事者と患者との接触を減らす技術としても注目されている。
顧客想定	<ul style="list-style-type: none"> ・リマの若中年層 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン利用者 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン利用者 ・地方部・都市部の医療施設
提供製品	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理機器 (体組成計、血糖値測定器等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人向け健康管理システム (運動・食事管理・生活習慣改善アプリ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔診療システム (遠隔トリアージ、 オンライン健康医療相談、 生体情報モニタ(患者監視装置)等)
競合企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ Huawei ・ Roche ・ OMRON ・ CITIZEN ・ A&D ・ Xiaomi ・ Samsung 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Calendario Menstrual ・ Mi Calendario de Embarazo ・ Ada-Tuguía desalud ・ Disorder & Diseases Dictionary 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITMS Perú ・ 1DOC3 ・ Smart Doctor ・ Boa Consulta ・ Chat Médico mediQuo

発行者：アイ・シー・ネット株式会社

総責任者：井上真

全体管理：松本幸敏、太田みなみ、淵上雄貴

調査担当：(ラテンアメリカ保健・医療)小泉太樹(リーダー)、池田高治、水流晶子、山田直之

お問い合わせ：Business_Consulting@icnet.co.jp

デザイン：株式会社ツープラトン

本レポートは、出所を記載した二次資料及び当社による現地ヒアリング結果に基づき、有益だと判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。